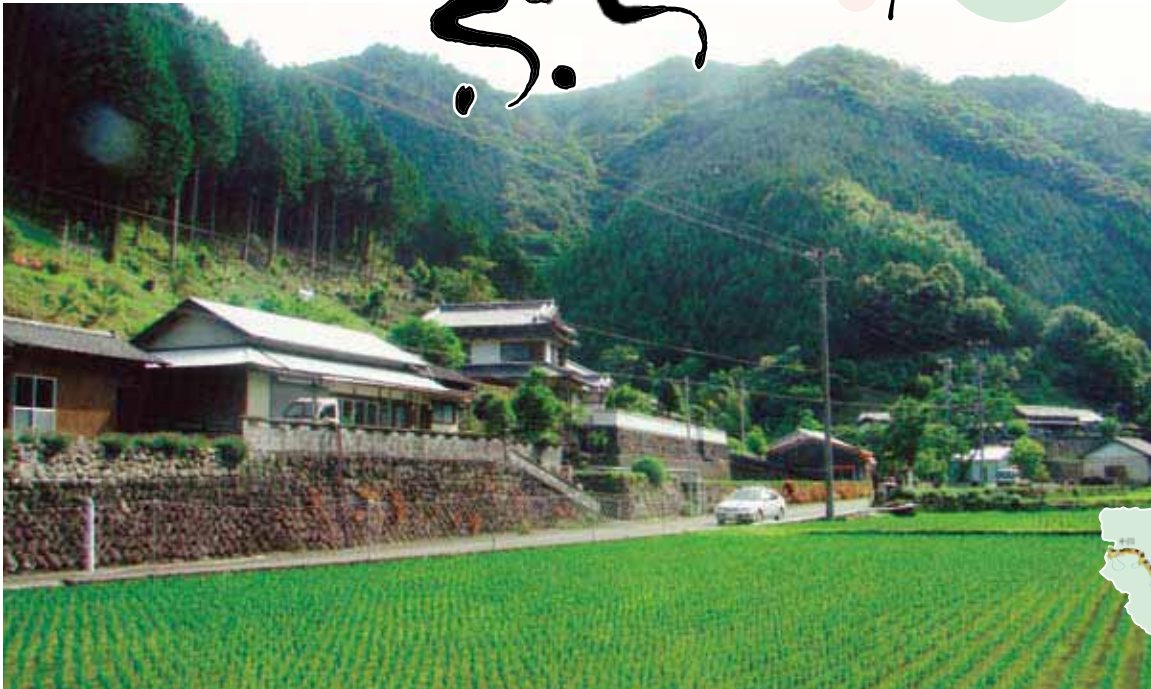


四万十町

ぶらり

散策

芳川



「こも昔はにぎやかやったぞね」と地元の人言う。木材の伐採搬出で大勢の林業作業員がおり、小学校もあった。記録によると昭和39年には児童数59人を数えた。でも、今は静か。しかし活力を感じる。小学生もいれば保育園児もいる。5月には赤ちゃんが生まれたし、

大正町の地図上の中央部に
おじやました。桂谷と川奥谷に
挟まれた山麓の集落で10世帯が
暮らしている。ここにも高齢化
の波は押し寄せ、内3世帯が1
人暮らし。田んぼは基盤整備さ
れ、畦には一工夫されている個
所もある。まずは「地区内を散
策させていただきます」と氏神
様に参拝に行った。川が境内の
縁を丸く流れ、まるで中州のよ
うで檜と杉の樹木に囲まれてい
る。山道を登り詰めた所がかわ
いらしい狛犬が迎えてくれた。
左右には榊が植えられており、
なるほどこう
しておけば祭
の度に、山か
ら迎えてくる
手間が省け
る。



芝のあぜ 芝刈り不要

氏神様の境内に小さな祠が祭
られていて、「猫神様」といい、
咳止めや婦人病を祈願する人
がお参りに来る。「お願ほとき」
がユニークで、釣った魚を奉納
するそう。治ったでしょう
ね。ここでハヤを釣りゆう人を
時々みる「小さな祠の大きな霊
力。そんな里、芳川。」

猫神様

7月にも誕生の予定で芳川地区
の人口が増える。増えるとい
うことは嬉しい。明るいニュー
スは活力となる。

大正天檜はブランド品

四万十町としても山に対する
思い入れは強い。町の木は檜で
ある。どういう風に宣伝されて
いったかは定かではないが、明
治の後期、この地の天檜（天然
檜）が奈良県へ運ばれた。社に
使う材という配慮から担いで搬
出した。しかも根付きのまま
で！その材は天理教本殿の大広
間に丸太のまままで使われてお
り、来拜者が撫るのでピカピ
カ光っているという。根の部分
は今でも大切に保管されてい
る。私も今回知ったが、これは
ニュースである。

町のうごき	5月31日		前月比		出生 死亡 転入 転出			
	男	女	男	女	男	女	計	5月中の届出)
	9,330	10,453	7	4	5	5	10	15
		19,783	11		12	14	26	15
	8,820		3					29

適正值 mg/L	5月12日
リン酸	5.0 測定値以下
硝酸	0.5 0.313
アンモニウム	5.0 測定値以下
アニオン活性剤	1.0 0.350
化学的酸素消費量	10.0 3.365

四万十川の
水質状況

調査：大正（吾川）
資料：四万十高校自然環境部

四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/>

広報『四万十町通信』はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)